

平成 20 年 1 月 30 日

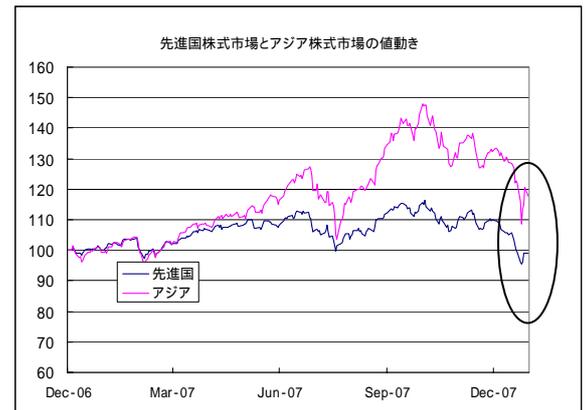
ご投資家のみなさまへ

T&D アセットマネジメント株式会社

最近のアジア市場の動きについて

最近のアジア市場動向

米国のサブプライム問題に伴う景気減速懸念の急速な広がりにより、これまで米国経済の減速が新興国には大きな足かせとはならないとする、いわゆる「デカップリング論」に支えられ、欧米株式市場とは比較的連動性が低かったアジア新興国株式市場でしたが、12月末に米国株式市場が下落したことから始まった、1月4日の世界的同時株安には欧米市場に牽引される形で大きく下落しました。その後もこの傾向は続き、また足許過熱感が強まっていたこともあってか、アジア主要市場は年初来で香港ハンセン指数が 13.5%、シンガポール S T 指数は 12.3%と全体的に値を下げる展開となっております(1月28日現在)。



出所: Bloomberg

先進国は MSCI World(日本を含む先進国 23 カ国で構成されるインデックス)、アジアは MSCI アジア太平洋(除く日本)指数を使用。2006 年 12 月 29 日時点をもとに指数化。

今後の相場見通し

欧米ではサブプライム問題に伴い、住宅市場の悪化、金融機関の損失拡大、個人消費の鈍化など実体経済への悪影響が表面化しています。これに対し、米国政府は減税や大幅な利下げなど財政金融面で急速な対応を行うスタンスを見せていますが、金融市場が混乱する中で、当面景気悪化を示す経済指標が予想されることや米金融保証会社の格下げなどの新たな悪材料もあり、調整に時間を要する可能性があります。

中国を始めとするアジア各国においても、こうした先進国の景気減速や金融市場混乱の影響を免れることは出来ないものの、各国消費が拡大傾向にあることやインフラ投資等の政府の需要に支えられていることなどもあり、世界経済の減速度合いに比べて比較的堅調を維持するものと期待されます。

短期的には、米国景気への懸念などから株式市場は振れの大きい展開となることも予想されますが、中長期的な観点から、高い潜在成長力を持ったアジア各国への投資はまだまだ魅力的なものであると考えます。

上記見解は、当社の見通しであり将来の市場動向を保証するものではありません

基準価額の騰落状況

ファンド名	平成20年 1月28日 基準価額 (円)	平成20年 1月29日 基準価額 (円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
コスモ・中国株厳選ファンド	13,899	13,512	-387	-2.78%
アジア・ダブルプレミア・ファンド(龍虎)	9,767	9,421	-346	-3.54%

市況情報

	平成20年1月25日	平成20年1月28日	騰落率(%)
香港/ハンセン指数	25,122.37	24,053.61	-4.25%
香港/ハンセン中国企業株指数	14,015.75	13,319.49	-4.97%
香港/レッドチップ指数	5,444.21	5,176.20	-4.92%
中国/上海総合指数	4,761.69	4,419.29	-7.19%
中国/シネン総合指数	1,434.21	1,335.96	-6.85%
台湾/加権指数	7,739.59	7,485.79	-3.28%
シンガポール/ST指数	3,159.48	3,041.06	-3.75%
マレーシア/クアラルンプール指数	1,405.40	1,380.54	-1.77%
インドネシア/ジャカルタ指数	2,620.49	2,582.05	-1.47%
タイ/SET指数	759.72	744.36	-2.02%
フィリピン/フィリピン総合指数	3,237.41	3,203.56	-1.05%
ハトナム/VN指数	776.04	785.07	1.16%

データは基準価額への反映を考慮して1営業日前のものを使用しています。

文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。

本資料は投資家の皆様に T&D アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式により投資信託の受益証券に投資を行うことで、実質的に海外の株式などの値動きのある証券(外貨建証券には為替のリスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。従いまして、投資元本は保証されているものではなく、損失が生じるおそれがあります。投資信託財産に生じた損失および利益はすべて投資家の皆様に帰属します。お申込にあたっては、当ファンドの内容、リスクを十分ご理解のうえご自身でご判断ください。

当ファンドの基準価額に影響を与える主な投資リスク

「株式の価格変動リスク」「為替変動リスク」「カントリーリスク」「信用リスク」「流動性リスク」
詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。

投資信託に係る費用について

【お客様には以下の費用をご負担いただきます】

ご購入時に直接ご負担いただく費用

お申込手数料・・・上限 3.15%(税込)

保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬・・・上限 1.96%程度(税込)

その他費用・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

ご換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額・・・上限 0.5%

当該手数料等の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

(ご注意)

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&D アセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当社の概要

商 号 : T&Dアセットマネジメント株式会社

登録番号 : 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 357 号

加入協会 : (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会